

Richart ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第174号

Nanae Historical
Museum Collection

ななえ古写真物語 VOL.174

ななえの消防史

旧消防七飯支署

昭和50年ころ

桜町地区



明治28年、有志の寄付により腕用ポンプほか消防器具を設備し、「七飯消防組」を組織したのが、七飯町における消防の始まりです。おそらくは、江戸期にも地域や寄合などによる防火意識はあったと思われますが、文献史料が見当たらないので、先駆はとしては、今のところこの年代と考えられます。

以降、明治34年に峠下に、明治36年に大中山に同様の消防組が組織されるようになったため、これらを統合して、七飯＝第一部、峠下＝第二部、大中山＝第三部の部制へ変更し、組頭には恒吉与次郎が就任しました。その後、明治41年には藤城（第四部）に、明治44年に軍川（第五部）、大沼（第六部）、大正10年に鶴野（第七部）が組織されることになります。

『七飯町史』によると、大正初年の七飯消防組の編成は、組頭1名、部長6名（鶴野地区がまだ成立していないため）、小頭24名、消防手263名で構成され、火災時の消火活動のほか、治安整備、火災予防のための夜警や歳末警戒にも努め、地域の防火意識の向上を図っていたようで、それぞれの消防組が所持する消火器具などは、地域住民からの寄付によるものが多かったことから想像すると、当時は、自分たちの住む地域は自分たちで守るという意識が高かったのではないかと思います。

昭和14年に、警防団令が交付されたことで、七飯消防組は「七飯警防団」に改組され、戦時下の民間防衛を担うこととなりましたが、戦後となる昭和21年には「七飯村消防団」と改称され、任務も本来の消防の姿へと戻り、自治体消防が発足します。その影響もあり、役場機構の中に「消防係」が設置されましたが、大沼国定公園地域に大型宿泊施設が建ち始めたり、本町や大中山地区に住宅が急増したこともあり、消火体制は万全といえない状況が続いていました。

そういった情勢を打破するため、昭和47年に同様の状況であった上磯町・大野町（現北斗市）と七飯町の三町により協議が行われ、広域をカバーする消防事務組合の設立が決定します。これを受け、翌年の昭和48年1月1日に「南渡島消防事務組合」が発足、七飯町にも消防庁舎として上の写真にある「旧消防七飯支署」が設置されました。この庁舎は、平成27年に一新されたため、もう姿を見ることは出来ないのですが、七飯消防署といわれると、この写真に写っている建物を思い浮かべる町民は、まだ多いと思います。

ななえにおける消防は、地域住民の意識によって生まれ、現在も七飯町の安全のために、活動しています。

19日 七飯の大銀杏

七飯中学校のすぐそばに、樹齢500年を超えるイチョウの木があります。幹回りの太さは圧巻で、8～9本の木が合体した、荘厳な趣きの巨木となっています。

江戸時代以前、ここに三嶋神社が建てられた際に（後に現在地へ移転）、植えられたものと伝えられており、当館では「七飯の大銀杏」として、文化財同様に保護活動に努めていますが、長い年月風雨にさらされ、木柵のペンキは剥げ落ち、さらに雑木が繁茂していたので、思い切って色塗りと雑木の切り落としをして、見学しやすい環境を整えました。隣接して牛馬の碑もありますので、ぜひ、ななえ町を眺め続けているイチョウの大木に会いに行ってくださいと思います。



28日 すきまの植物を探せ！

第2回目となるジュニア探検クラブは、「街なかの自然」というプログラムです。まず、子どもたちには、①隙間でくらす植物を探すこと②街の生態を探すことを目標に、歴史館から、近くの公園までをゆっくりと散歩します。

石垣やレンガの隙間、コンクリートの割れ目などから顔をのぞかせる植物をルーペで見たり、変わった置物のある庭や、消火栓のカタチ、標識の高さの違いなど、街がどのような自然と人工物でできているかを観察しました。

いつも歩いている街が、見方を変えることで違った景色になることや、自然と街が線で区切ることはできないことを、実際に歩くことで体感できたのなら、有意義な散歩になったのではないかと思います。



編集後記 ～tawagoto～

6月に入ってから、ハルゼミの声が響くようになった。心なしか風にさわやかさを感じる。近くの林ではコウライキジが子育てを始めたようで、時折鳴き声が聞こえるし、それ以外にも、聞きなれない鳥の声を耳にする。春から初夏にかけて、躍動的な生命の存在感を目の当りにする中、ふと足元に目を向けると、刈ったばかりの草が勢いよく伸びていた。そうだった、命の躍動は草花も同じ、いたちごっこのような草刈の季節に突入したのである。

7月の予定

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水 夜の博物館
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月 海の日
19	火
20	水 ピチャリ第175号発行
21	木
22	金
23	土 ジュニア探検クラブ
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土
31	日

※7月の休館日はありません

野草園のいっど

当館屋外にある野草園では、シランやシャクヤクなどの花が咲き始めました。こちらであわせて楽しんでほしいです。



~ピチャリ~
第174号

令和4年6月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp